

令和5年度 シラバス

整理番号

TF歴史総合3

教科名	地歴公民	科目名	歴史総合		
履修学年	1年	履修	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	単位数	2 単位
使用教科書 副教材等	現代の歴史総合 みる・読みとく・考える (山川)				
学習の目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野を持ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる公民としての資質・能力を育成することをめざす。				

●どのような力を、どのレベルまで身につけるのか【目指す能力とその次元】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそのなかの日本を広く相互的な視野から捉え、歴史を理解しつつ、情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うと共に、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
評価方法	定期考査・課題提出・グループワーク	定期考査・課題提出・レポート提出・グループワーク	課題提出・授業態度・レポート提出

●いつ、何を学ぶか【学習内容】

学期	学習内容	学習活動・ねらい
1学期	<ul style="list-style-type: none"> 18世紀の東アジアにおける社会と経済 貿易が結んだ世界と日本 産業革命 	<ul style="list-style-type: none"> 中国と日本の商品生産と流通を対比して、それぞれの経済発展や社会の変容について考察する。 大阪を中心とした遠隔地海運が発展し、各種の商品生産が発展したことを理解する。 アジア域内貿易がどのようにおこなわれていたかを理解する。 産業革命がなぜイギリスから始まったのかを理解する。 産業革命によって加速した世界の一体化がどのように進み、どのような影響を及ぼしたのかを理解する。
2学期	<ul style="list-style-type: none"> 中国の開港と日本の開国 市民革命 国民国家とナショナリズム 明治維新 	<ul style="list-style-type: none"> 中国の開港・日本の開国と産業革命との関係、および従来の東アジア地域間の貿易や人・情報の流れの変容について考察する。 アメリカ独立革命・フランス革命が世界各地に与えた影響について理解する。 国民国家の特徴について身分制国家などと対比して理解する。 日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などをもとに、立憲体制と国民国家の形成について理解する。
3学期	<ul style="list-style-type: none"> 日本の産業革命 帝国主義 変容する東アジアの国際秩序 	<ul style="list-style-type: none"> 紡績業と製糸業の特徴と相違点、経済発展に果たした役割について理解するとともに民間産業の成長と財閥と成立要因及び産業革命成立との関連について考察し、理解する。 欧米諸国による植民地化の背景や経緯について理解する。 日清戦争の勝利が、朝鮮・日本・中国などの東アジアの国際秩序に与えた影響について考察し理解する。